

「みんなで癒会」発刊にあたって

この度は、みんなで癒会第3巻の発刊おめでとつございます。

第3巻まで発刊にこぎつけましたのは、ひとえに川柳や写真、工芸作品を投稿して頂いた方々や、編集に携わった方々のおかげかと存じます。

そういえば私自身、お腹を抱えて笑ったのはいつだったでしょうか？ テレビではバラエティー番組がこれほど氾濫している昨今でも、日々の「笑い」が少なくなってきたと感じます。きっと、本当の「笑い」は、遠く離れた世界の出来事ではなく、身近にあるからこそではないのでしょうか。しかし、その身近な「笑い」を見過ごしてしまっているから、日々の「笑い」が少なくなっているのかもしれない。これまで発刊されたこの冊子は、つつい何回も読んでしまい、何度見ても思わずふき出しそうになりました。そんな事は全く気が付かなかったのに、言われてみれば「そうそう、分かるわ